

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

令和5年11月14日

計画の名称	広島広域都市圏における広域的な観光活性化計画			重点配分対象の該当
計画の期間	平成29年度～令和3年度（5年間）	交付対象	山口県	
計画の目標	広島広域都市圏は、中国地方の経済成長をけん引し、高次の都市機能の集積・強化及び圏域全体の生活関連機能サービスを向上させることを目的に、平成28年に連携協約を締結し、広島市を連携中核都市とした11市13町から形成される都市圏である。また、本都市圏は世界文化遺産などの世界に誇る観光拠点のほか、豊かな自然が織りなす風光明媚な景勝地、歴史的資産など多彩な観光資源を有しているうえ、拠点施設が広島市の中心部から概ね60kmの圏内にあるとともに、圏域を縦横断する山陽自動車道や中国自動車道の高速道路ネットワークが形成されており、国を代表する観光地として高いポテンシャルを有している。さらに、広島県と山口県は一般社団法人せとうち観光振興機構と連携して、観光キャンペーンを展開し地域の魅力や観光資源の発信、イベントの開催、拠点施設の支援などを観光集客に取組んでいる。 圏域の強みを活かしながら、高速道路ネットワーク等を活用するとともに、広域的特定活動と一体となった広域的な観光周遊ルートを形成し、交通拠点から拠点施設の間や拠点施設間の道路整備等を通じて、観光施設への移動時間を短縮し、観光客の疲労・ストレスを軽減することで、満足度の向上に努め圏域内外からの観光客や外国人観光客を大幅に増加させ、観光による広域的な地域活性化を図る。			

計画の成果目標（定量的指標）	【広島県・山口県 共通目標】広島広域都市圏（安芸高田市、三原市、世羅町を除く）における入込観光客数を33,479千人（H26）から37,261千人（R3）に増加（3,782千人（11%）の増加） 【山口県 独自目標】山口県内における広島広域都市圏の入込観光客数を5,794千人（H26）から6,448千人（R3）に増加（654千人（11%）の増加）
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (R1末)	最終目標値 (R3末)	
広島広域都市圏（安芸高田市、三原市、世羅町を除く）における入込観光客数 (観光客の増加割合) = (評価時点の観光客数 - H26の年間観光客数) / (H26の年間観光客数)	33,479千人	36,186千人	37,261千人	
山口県内における広島広域都市圏の入込観光客数 (観光客の増加割合) = (評価時点の観光客数 - H26の年間観光客数) / (H26の年間観光客数)	5,794千人	6,262千人	6,448千人	

事後評価

実施体制、実施時期 事後評価												
実施体制						実施時期						
土木建築部評価システム検討委員会にて、事後評価を実施						交付期間の最終年度						
						公表の方法						
山口県ホームページに掲載												
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	4170百万円	A	4170百万円	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	R2	R3				
A11-001	道路	一般	山口県	直接	山口県	(国) 4 3 4 号・須川工区	バイパス L=0.7km	岩国市						1,600	1.4		
A11-002	道路	一般	山口県	直接	山口県	(主) 岩国大竹線・森ヶ原工区	バイパス L=1.0km	岩国市						2,100	1.3		
A11-003	道路	一般	山口県	直接	山口県	(主) 岩国大竹線・関ヶ浜～小瀬工区	現道拡幅 L=0.3km	和木町・岩国市						300			
A11-004	道路	一般	山口県	直接	山口県	(主) 大島環状線・古城工区	バイパス L=0.3km	周防大島町						50			
A11-005	道路	一般	山口県	直接	山口県	(主) 光上関線・尾国工区	現道拡幅 L=0.2km	平生町						40			
A11-006	道路	一般	山口県	直接	山口県	(主) 柳井上関線・伊保庄工区	バイパス L=2.6km	柳井市						80			
合計													4,170				

B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H30	H31	R2	R3	R4				
合計																	

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H30	H31	R2	R3	R4		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H30	H31	R2	R3	R4		
									合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	新型コロナウイルスの影響により観光客数は落ち込んだが、入込観光客数は回復傾向にあり、計画通り道路整備が進捗したことにより利用者の利便性が向上し、観光振興に寄与している。									
II 定量的指標の達成状況	定量的指標	最終目標値	最終実績値	目標値と実績値に差が出た要因						
	広島広域都市圏（安芸高田市、三原市、世羅町を除く）における入込観光客数の増加	37,261千人	25,529千人	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、目標を達成しなかったが、入込観光客数は回復傾向にある。 ・広島広域都市圏（安芸高田市、三原市、世羅町を除く）における入込観光客数が18,986千人（R3）から25,529千人（R4）に増加（6,543千人（34%）の増加） 						
	山口県内における広島広域都市圏の入込観光客数の増加	6,448千人	4,115千人	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、目標を達成しなかったが、入込観光客数は回復傾向にある。 ・山口県における広島広域都市圏の入込観光客数が3,451千人（R3）から4,115千人（R4）に増加（664千人（19%）の増加） 						
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)	道路整備の実施により、時間短縮効果やすれ違い困難箇所が解消されたことで交通環境が改善された。									

3. 特記事項(今後の方針等)

引き続き、広島広域都市圏の観光による地域活性化に向けて、広域的な観光周遊ルートの形成に資する各拠点間の道路整備を推進する。

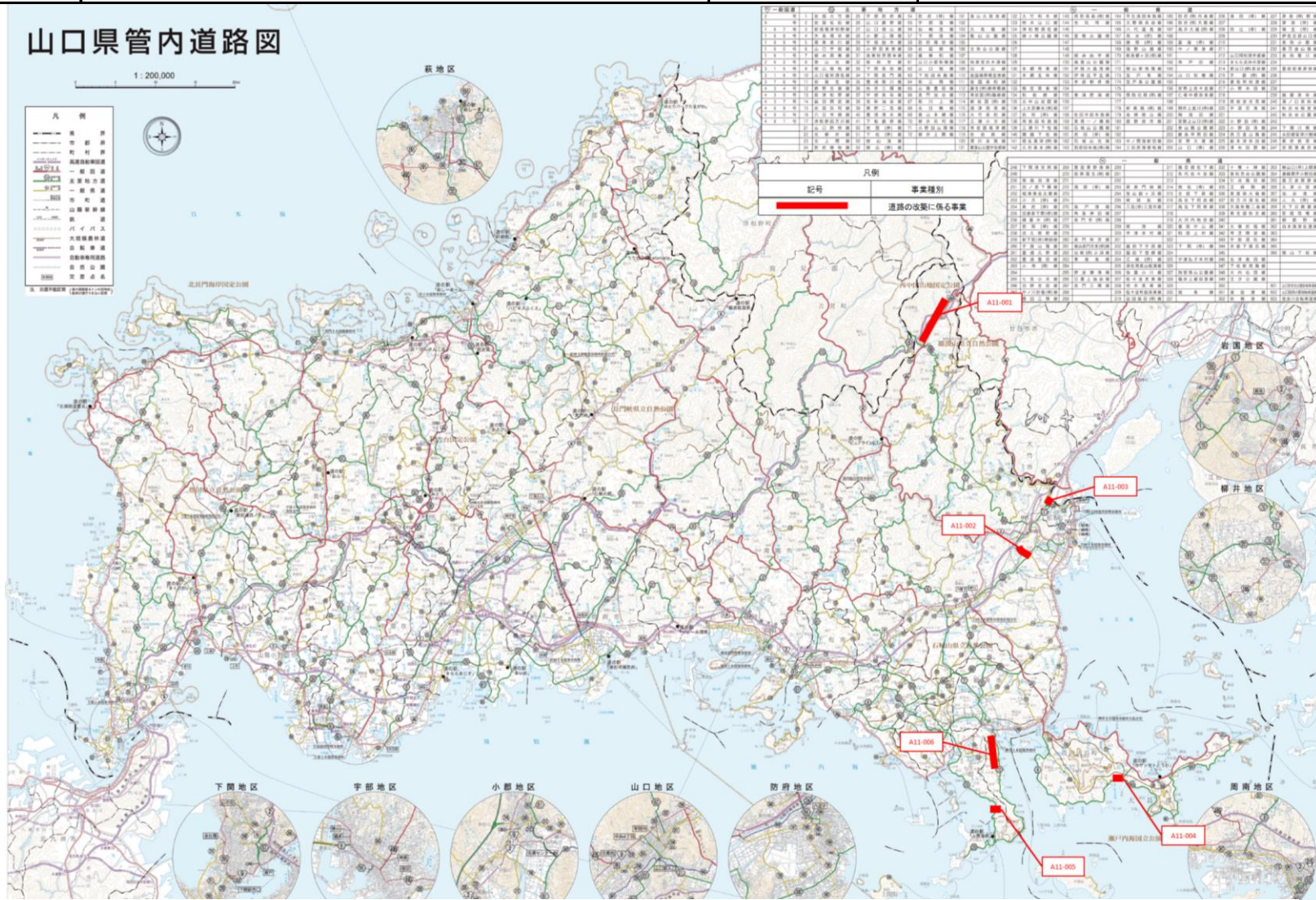
計画の名称 広島広域都市圏における広域的な観光活性化計画

計画の期間 平成29年度 ～ 令和3年度 (5年間)

交付対象

山口県

山口県管内道路図



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を使用した。(承認番号 平26中使、第3号)